Japanese Unexamined Utility Model Application Publication No. S50-27079

Inventor

: Koji ARAI

Applicant

: Nihon Denso Kabushiki Kaisha

Application No.

: S45-136163

Filing Date

: December 27, 1970

Publication Date: August 12, 1975

Title of Invention : AUTOMOBILE ELECTRIC PARTS CONTAINER

## Claim 1

An automobile electric parts container in which a case is engaged with a base plate, which is adapted to accommodate automobile electric parts, so as to cover the automobile electric parts, wherein a groove is formed in an inner side of the case, which becomes a lowermost portion in a state of being mounted, by making a thickness of the case be thin, and a clearance for water removal is formed by the groove in the fitting portion between the base plate and the case.

物群户

国本田會

昭50-27079 ①英用新案出願公告

## 実用新案公報

必公告 昭和50年(1975) 8月 12日 广内炫理番号 6927-36

(全4頁)

**多自動車用電気部品収納容器** 

R45-136163 **3** 

昭45(1970)12月27日 荒井弘司 脒 暫 #£

為谷市昭和 1の1日本国族株式 会社内

日本電裝株式会社 < 歐 # (3)

刈谷市昭和町1の1

図面の簡単な説明

正面図、第 4図は第 2図の A - A断面図、第 5図 図図示の容器の取付状態を示す断面図、第7図か を示す所面図で、図中同一符号は同一もしくは為 第1図は従来容器の断面図、第2図は本地策に なる容器の一英梅例を示す平面図、第3図はその Lび第B図は本考案容器の案出過程における構造 辞制をおたす。

本地案はブザー、リレー等の自動車用質気制品 を収納する容器に関するものである。 **考案の詳細な説明** 

あり、この場合に前記ケース2とペース板1との 時、降雨時等にかいては多畳の水をかぶることが く電気部品を支持するペース板1に、前記電気部 るが、このよりな容器は一般に自動車エンジンル - 4内のごとく 車室外に 取付けられるため、 洗車 従来のこの種の容器としては第1図に示すごと

題が生じた。

**ナ恐れがあつた。また、この種ケースは自動車内** 即の狭い空間内に収納されるため億力コンパクト であることが要求され、水抜き穴を散けたことに よりケース内に収納される自動車用電気部品が前 記水抜汽を閉塞し、前記虹気部品の腐食、故障と 停備したりして内部の電気部品に作動不良を起こ

が要求される自動車用電気部品にとつて致命的な 欠陥となる。 そこで考案者は、水抜き穴を備える構造として 第7回かよび第8回に示すごとき構造を試作して

しかるに、第1図にて示す構造のものはペース 板本体18の吸下端に水抜き穴とたる切欠き1d をペース型成型時に同時に殷けたものであるが、 5 4 to

**略すると水が排水されず、また歴気を有する空気** 切欠き 1 dはペーメ板本体 1 a の 1 部を切欠いて 設けてあるためペース板本体18の自動車用電気 記切欠き1dを収納された電気部品の端面Kて閉 部品取付スペース (有効スペース)が減少し、机 がケース内に停滞して腐食、絶験劣化をきたし、

**は第2図のB-B断面図、第6図は第2図~第5 15 重大々欠陥を生じる。従つて、有効メベーメが蔵** 少するのみてなく設計者および組付担当者におい て常に前記切欠き1dが閉塞されぬように留意す ることが必要となる。次に、第8図にて示す構造 のものはケース2の段下端面を外方向に増曲させ 20 ペース板本体1 aの取付有効スペースを確保する ものであるが、間隙1を形成したために最大外形 の形成にて生じた角部(凸部)2gが目立ち、せ つかくコンパクトで、かつ、外観の良いケースが 寸法の増加をきたし、しかも、外観的にも間勝て

品を被うようにケース2を嵌合してなるものがあ 25 水抜き用の間隙7を設けたためにデザインを損な で、かり、不要な最大中铁の増加を招くとて9間

外方に突出せしめて間隙をつくる代わりに眩当部 嵌合部より水が侵入したり、湿気をかびた空気が 30 分のケース肉厚を一部簿くすれば、デサイン的に 本考案は上記問題点に鑑み、ケースの下端面を また、一部の内耳を描くするのみためるからケー 1つて外形寸法が大きくなつたり、単体の振動に 35 して韓間を殴けべーメ板本体との間に水の抜ける 間隙を散け、ケースの通気状態を良くすると共に ケース内部に役入した水を有効に排除できること は勿論、設計、組付の不良によつて水抜き用の間 目立ち不要な外形寸法の増加をきたす角部がなく ケース最下部に位置するケース内側に肉厚を薄く スの強度仕乗用上何ら問題がないことに着目し、 **トラカ野を招けば特に自動車の安全上高信頼性** 

3

東公 昭50-27079

ケースの内側に散ケースの内邸を描くすることに より群部を殴け、駁群部によりた値記ペース板と 前記ケースとの嵌合部に聞跡を形成したから、ベ **ース板の低気部品取付有効メベーメを収少さわず** 

デザイン的にも優れた自動車用電気部品収納容器 頒を閉塞することがなく最大外形寸法を極力小さ くしてョンパクト化し、かつ、このことにょつて を提供することを目的とするものである。

かつ、恒気部品による間豚の閉塞を防止でき、股

計、組付において煩雑となる間隙閉塞に対する留 **意を不要とし、又削隊を設けてもケースの外形は**  **岡阪 4 拍しな 2 形の 形状 2 かわり ずし 1 間級 6 ま** 

以下本考案を図に示す英稿例について説明する。5 **した形段したある。2 なべーメ板1 に取付けら 10** 訳ヒンジ部3位内厚を極めて輝く( 0.3 ma強度) 15 - >板1への嵌合結合を行なうものである。6は、20 **散けてある。10.8 は前記ペース板1を車体125** ヒンジ部3を介して一体形成されており、前記へ 木凹部 5 K紙まり込むこと K よつてケース 2 の ベ 第2図~第6図におひて、1はペーメ板で、ブサ bを有する取付部1cとより一体形成されてな **たれて観楽的品を被りケースで、前記ペース板1と** - ス板1 およびケース 2 代弾性を有する合成樹脂 **欧소広ボリゾロピフンドにり形成つにもひた、** 色 取付状態になった最下部に位配するケーメ2の酒 | との間に間隙 | が形成されるよりにするもので あり、前記ケース 2の肉厚を輝くすることにより、 り、 放取付部 1 c は 前記本体 1 a に対し殴付きを 周に数個所設けた突起で、ケーメ2の内側に設け 角部2g・2bの内側に散けた隣部で、ペーメ板 りなる被取付体9に取付けるためのポルトおよび - 毎の宜気部品が固定される本体1 a と、取竹穴 4 吐蚊 6 図Kボナごとく ペース板 1 の本体 1 a 外 することにょつてヒンジの作用を持たせている。 ナットである。

被うようにケースに嵌合してたる自動車用電気部 30 電気部品を支持するペース板に、前記電気部品を 品収約容器において、取付状態時に最下部となる 以上述へたよりの存地祭のなってれ、自動車用

る外形寸法の増大、外部聚固に現われる角部(奥 起)をなくしたから幅力コンパクト化でき、かつ、 ることができ、更ん、祝母時、降雨時毎にかって **水を多位にかぶり、内部に飲水が役入してもこの** 水柱前配間隙より外部に落下し、かつ蚊間酸によ このこ とにょつてデザイン的に優れたケースを得 して、ケース内部と外気が油油されている為に限 気をおびた空気がケース内部に停備することはな く、従ひれ内部の短剣郎品の作動不良を未然に防 止することがてきるといり優れた効果がある。 の奥用新来登録請求の範囲

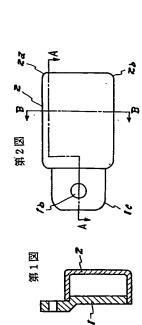
き用の間嬢を設けたことを特徴とする自動車用電 自動車用電気部品を収納するペーメ板に、値配 自動車用電気部品を被りよりKケースを篏合した 自動車用電気部品収券容器でおって、取付状態時 **に段下前となる前記ケースの内側に放ケースの肉 した 付記 ペース板 と前記ケーメとの嵌合部に水板 厚を輝くすることにょり再部を設け、鼓荷部によ** 乳即品収的容器。

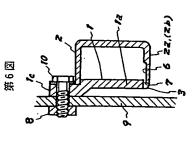
**69引用文献** 

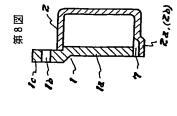
公 昭44-11662

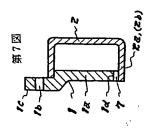
第5図

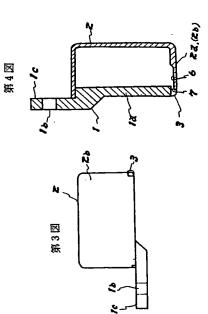












-117-